

イノシシ緊急対策事業について

自然保護課

1 事業の目的

イノシシの被害や分布拡大を防止するため、目撃件数が急増している湯沢市を重点地域として、緊急の捕獲対策を実施する。

2 事業の概要

(1) 捕獲のための用具の購入 337千円

イノシシ捕獲用の箱罠を購入し無償で貸し出す。

- ・購入台数 箱罠 2 台

(2) 放射性物質の検査体制の整備 450千円

野生鳥獣肉の安全性を確認するための検査機器を設置する。

- ・検査対象 狩猟及び有害鳥獣捕獲による野生鳥獣肉
- ・設置場所 平鹿地域振興局内

(3) 捕獲技術講習の開催 410千円

イノシシの罠による捕獲技術の向上を図るため、生態についての講演や現地での技術講習を行う。

- ・開催時期 令和元年 8 月
- ・開催場所 湯沢市
- ・参集範囲 県、市町村、猟友会 等

(4) 出没情報収集・提供システムの整備 2,116千円

イノシシを効率的に捕獲できるよう、目撃情報が多い地域にセンサーカメラを設置し、リアルタイムに出没情報を収集して市町村等に提供するシステムを整備する。

- ・実施場所 湯沢市（秋ノ宮地区）
- ・購入機器 送受信可能なセンサーカメラ20台

(5) イノシシ緊急捕獲への補助 500千円

狩猟期における捕獲を奨励するため、イノシシを捕獲した狩猟者に対して、市町村が交付する奨励金に係る経費について助成する。

- | | | | |
|-------|----------|-------|----------|
| ・補助対象 | 湯沢市ほか | ・補助率 | 1 / 2 以内 |
| ・補助上限 | 5,000円/頭 | ・対象頭数 | 100頭 |

3 予算額 3, 8 1 3 千円

【参考】

- 秋田県におけるイノシシの目撃等が急激に増加してきており、平成30年度は過去最高に達している。中でも宮城県と山形県の県境付近ではすでに定着していると思われ、今後農作物被害の拡大や人身被害の発生が危惧される。

表1. イノシシ目撃頭数及び捕獲頭数の推移（令和元年5月21日現在）

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
目撃頭数	2	2	2	5	8	42	43	102	0
捕獲頭数	1	0	0	2	0	2	7	28	0

表2. 平成30年度におけるイノシシの管内別目撃割合

鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝
1%	0%	2%	10%	16%	8%	2%	61%



クマの生息調査時に撮影された仔イノシシ3頭
（湯沢市）



イノシシによる水稻の被害
（兵庫県の事例）

- 平成30年11月に湯沢市で捕獲された3頭のイノシシから、国の基準値を超える放射性物質が検出され、自家消費や流通の自粛要請を行ったところであり、野生鳥獣肉の安全性の確認に向けて、放射性物質の検査体制の構築が急務となっている。